

シンポジウム 2021/02/23

「外国人児童生徒の日本語学習支援をめぐるソーシャルネットワーク」

# 対話型アセスメント(DLA)をツールとした コーディネーターの実践と展開

井上 里鶴

(つくばにほんごサポート)

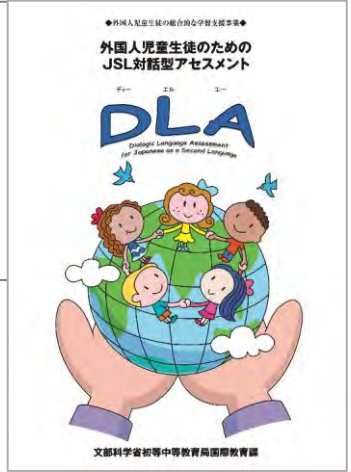
# 報告内容

① DLAの実施

② DLAの結果のアウトプット

③ DLAの課題と今後の展開

# DLA概要



## 【対象】

日常会話はできるが、**教科学習**に困難を感じている児童生徒

## 【目的】

子どもの**ALP（教科学習言語能力）**を把握し、どのような学習支援が必要か、教科学習支援のあり方を検討する

## 【特徴】

一対一で向き合う「**対話**」を**基本**とし、一番早く伸びる会話力を使って、紙筆テストでは現れない子どもたちの**潜在的な力**を引き出す

# DLAの実施

写真

- ・目的に沿って複数回実施。
- ・対面およびオンラインにより実施。

	実施方法	目的
1回目 DLA	対面	支援開始時における実態を把握する
2回目 DLA	オンライン	支援途中の学びやつまづきを把握する
3回目 DLA	対面 オンライン	将来の見通し等を検討する（次年度以降の予定）

9月

11月

3月

生徒Fの場合

DLA【話す】

DLA【話す】

DLA【話す】【書く】

# 結果のアウトプットの流れ

1. 結果の分析



2. 個別の支援計画



3. 関係者との共有

# 1. 結果の分析

- ・診断シート
- ・質的評価シート
- ・JSL評価参照枠



## < 診断シート >

■対話タスク■		
評価項目	評価	
	<input type="checkbox"/> 正答	<input type="checkbox"/> 無回答 <input type="checkbox"/> に✓
■「先生に質問」カード(4)A,B		
(4)A ① 先生に許可を求める	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(4)B ① 友だちに依頼する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
■「新しい先生」カード(5)		
① 自己紹介をする	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 質問1	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③ 質問2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
■「友達を誘う」カード(6)		
① 会話を切り出す	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 誘う	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③ 時間、場所の取り決め	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
④ 会話をしめくくる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
■「キャッチボール事件」カード(7)		
① 起こったこと／してしまったことを伝える	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 謝る	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価の目安	評価結果
<input type="checkbox"/> 正答：質問の意味を理解し、返答が自然で適切	/11 %
<input type="checkbox"/> 無回答：質問が理解できない、返答が不適切、無回答	( / % )
※文法上、語彙上の誤用があっても、ここでは減点とはしません。 p.35の質的評価の「文法的正確度」や「語彙」で評価します。	
	途中でやめた場合

## < 質的評価シート >

DLA<話す> 《質的評価》			
話の内容とまとめ			
基礎・対話タスク達成度	課せられたタスクがこなせる	5	3 1
認知タスク達成度	内容が豊富でまとめのある話、説明、理由、意見等と言える	5	3 1
文・段落の質			
文の質	自分で単文が作れる	5	3 1
段落の質	単文ばかりでなく、複文を使い、段落を構成できる	5	3 1
文法的正確度			
文法的正確度	正しい文法で話すことができる	5	3 1
語彙			
日常語彙	身近な日常語彙が使える	5	3 1
語彙の質 (教科学習語彙)	話題や内容に相応しい語彙を選んで、正しく使うことができる (教科学習語彙を含む)	5	3 1
発音・流暢度			
発音・イントネーション	自然な発音やイントネーション、だれが聞いてもわかる	5	3 1
流暢さ	やり取りが自然でなめらかである	5	3 1
話す態度			
話す態度	自分から進んで発言し、会話をリードできる	5	3 1
合計⇒ /10=平均⇒			

出典：[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/clarinet/003/1345413.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/clarinet/003/1345413.htm)

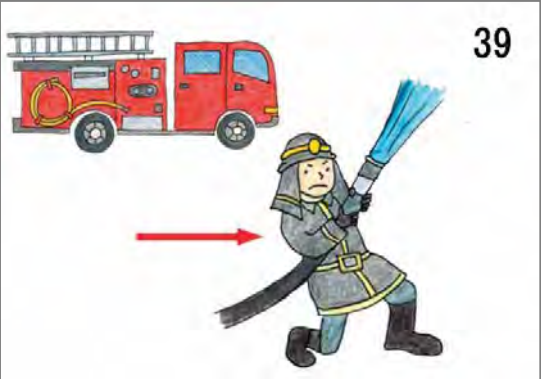
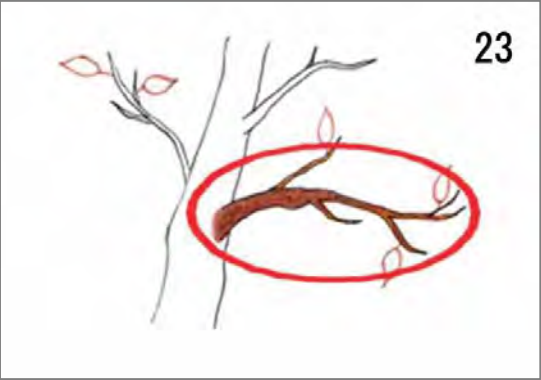
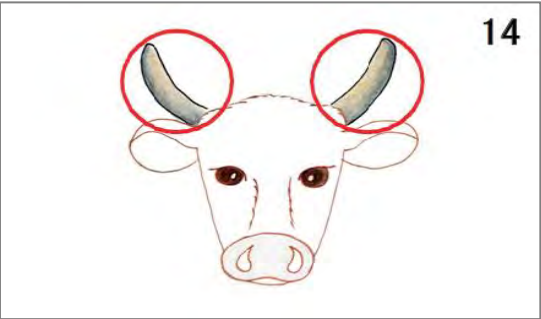


# <話す> JSL評価参照枠

出典： [https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/clarinet/003/1345413.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/clarinet/003/1345413.htm)

ステージ	話の内容・ まとめり	文・段落の質	文法的正確度	語彙	発音・流暢度	話す態度
6	<input type="checkbox"/> 年齢相応の教科内容 と関連した認知タスク がこなせる	<input type="checkbox"/> まとまった話が1人 でできる	<input type="checkbox"/> 文法的正確度が高い	<input type="checkbox"/> 年齢相応の教科学習 語彙が使える	<input type="checkbox"/> 発音が自然で、流暢 度が大変高い	<input type="checkbox"/> 自分から進んで発言 し、会話を自らリード できる
5	<input type="checkbox"/> 年齢相応の教科内容 と関連した認知タスク がある程度こなせる	<input type="checkbox"/> ある程度まとまった 話ができる	<input type="checkbox"/> 文法的正確度がある 程度高い	<input type="checkbox"/> 教科学習語彙がある 程度使える	<input type="checkbox"/> 発音が自然で、流暢 度が高い	<input type="checkbox"/> 様々な会話に積極的 に参加することができる
4	<input type="checkbox"/> 対話タスクがこなせ る	<input type="checkbox"/> 文を生成し、ある程 度連文ができる	<input type="checkbox"/> 連文レベルで誤用が ほとんど目立たない	<input type="checkbox"/> 日常語彙が使える	<input type="checkbox"/> 発音が自然で、流暢 度がある	<input type="checkbox"/> 聞かれた質問に答え ることができる
3	<input type="checkbox"/> 対話タスクがある程 度こなせる	<input type="checkbox"/> 単文レベルの応答が できる	<input type="checkbox"/> 単文は生成できる が、助詞や活用などの 誤用が目立つ	<input type="checkbox"/> 身近な日常語彙が使 える	<input type="checkbox"/> 流暢度が低い	<input type="checkbox"/> 聞かれた質問にある 程度答えることができる
2	<input type="checkbox"/> 基礎タスクがある程 度こなせる	<input type="checkbox"/> 二語文	<input type="checkbox"/> 語順が乱れ、 活用が不正確	<input type="checkbox"/> 基礎語彙が使える	<input type="checkbox"/> 流暢さなし	<input type="checkbox"/> 定型表現や知ってい る単語でコミュニケー ションをとろうとする
1	<input type="checkbox"/> 基礎タスクの質問に いくつか答えられる	<input type="checkbox"/> 一語文	<input type="checkbox"/> 単語レベル	<input type="checkbox"/> わずかな基礎語彙が 使える	<input type="checkbox"/> 流暢さなし	<input type="checkbox"/> ジェスチャーや表情 でコミュニケーション をとろうとする

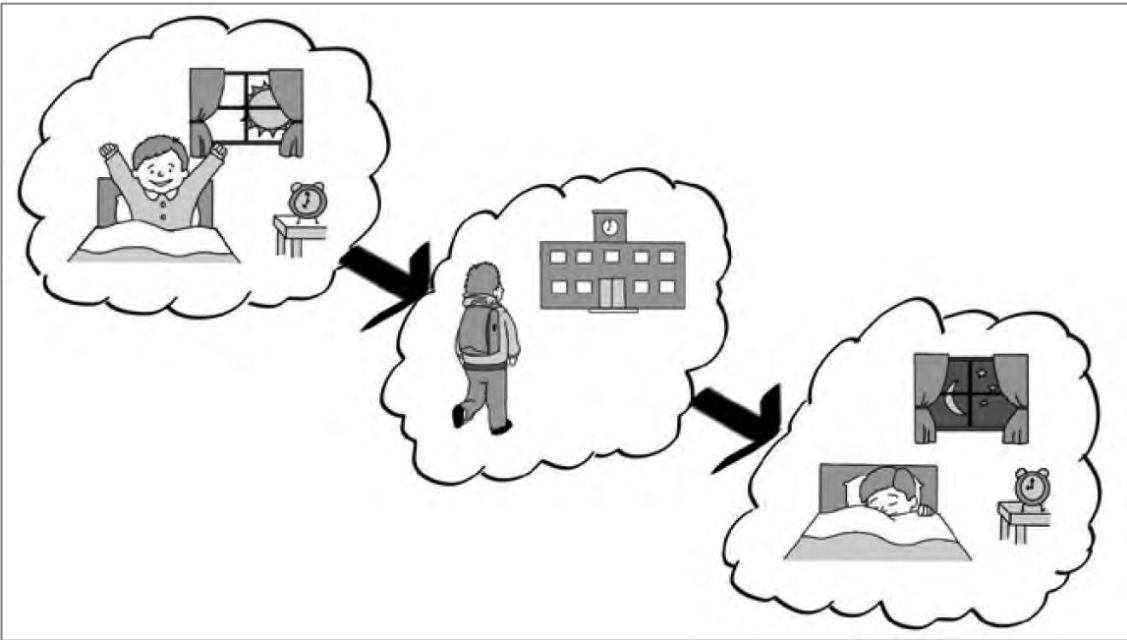
生徒の回答例：語彙力チェック



	間違えたもの
Bさん (ステージ5)	唇、(牛の)角、枝、引き出し、消防士、翼
Dさん (ステージ3)	まつげ、唇、(牛の)角、(ねこの)ひげ、枝、屋根、引き出し、 黒板消し、地図、運転手、医者、消防士、翼、着る
Fさん (ステージ2)	まつげ、唇、親指、爪、(牛の)角、(犬の)しっぽ、馬、ねずみ、 (ねこの)ひげ、木、葉、枝、扇風機、電話、屋根、階段、引き出し、 黒板、黒板消し、運転手、医者、消防士、翼、泳いでいる、歯を 磨いている、着る、怒る、短い、細い、軽い、背が高い



# 生徒の回答例：基礎タスク



## カード（3）日課

- ③いつも何時ごろ寝ますか。
- ④家に帰ってから、いつもどんなことをしますか。  
寝るまでのことを話してください。

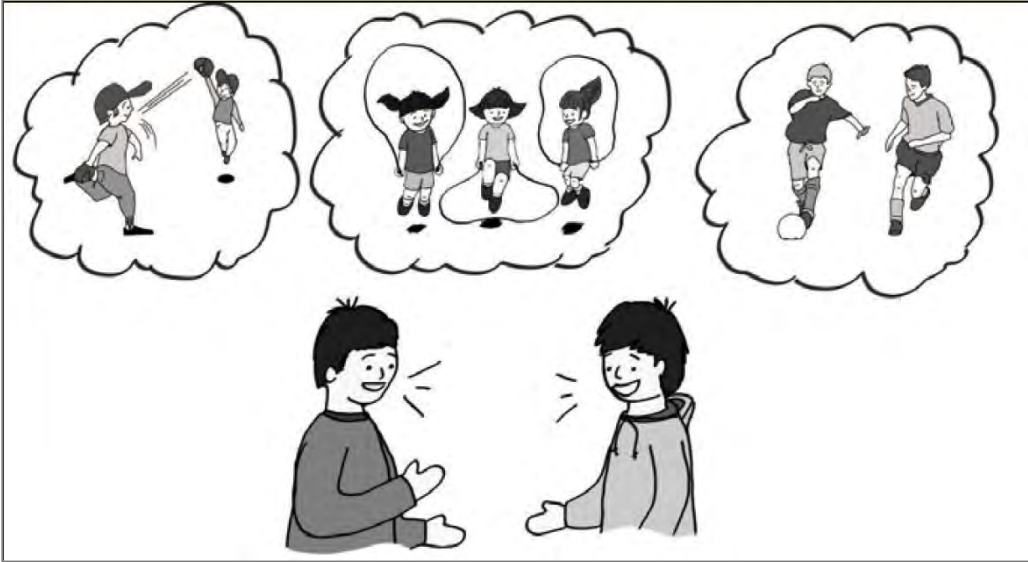
【ねらい】

③動詞の現在形を使って（習慣）が言えるか。

④「～て」を使って、動作を時系列でつなげることができるか。

Bさん (ステージ5)	③ いつも10時ぐらいに寝ます。 ④ ごはんを食べたり、宿題をしたり、スマホをしたり、11時ぐらいに寝ます。
Dさん (ステージ3)	③ 10時寝ます。 ④ ごはん食べます。10時寝ます。
Fさん (ステージ2)	③ 10時寝るです。 ④ わかりませんです。

# 生徒の回答例：対話タスク



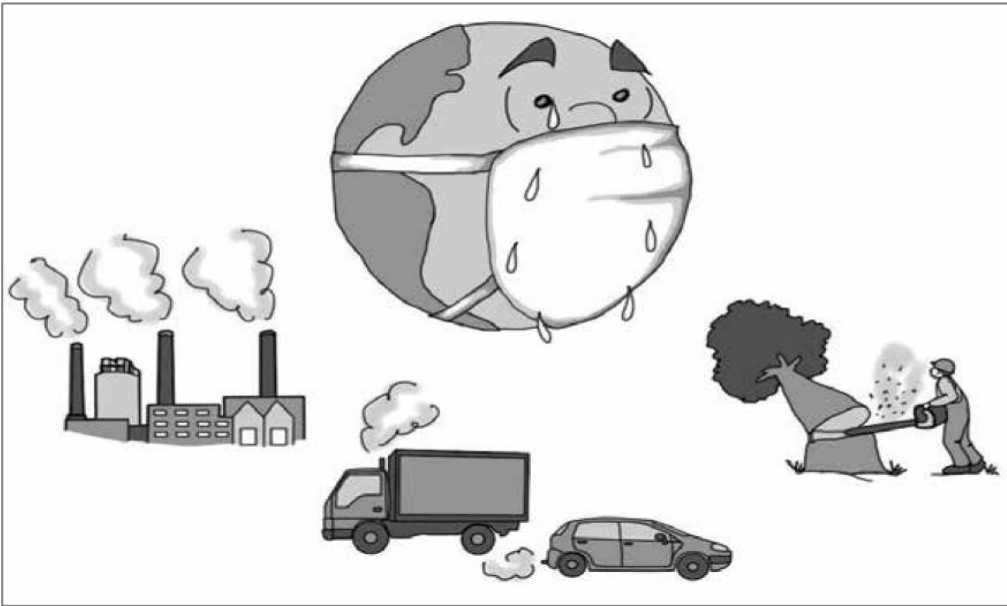
## カード（6）友だちを誘う

今日、学校が終わったら、〇〇さんと遊びたいです。  
〇〇さんを誘ってください。下駄箱のところで会い  
ました。

**【ねらい】**  
子どもが自ら話を切り出し、誘い、時間、場所  
などを決めて、会話をしめくくる力を見る。

Bさん (ステージ5)	今日遊ぼう。4時に公園でドッチボールしよう。
Dさん (ステージ3)	さそ…って何ですか。
Fさん (ステージ2)	わかりませんです。

# 生徒の回答例：認知タスク



## カード（11）地球問題

- ①地球が泣いています。  
どうして泣いていると思いますか。
- ②どうすればいいと思いますか。
- ③温暖化について学校で習いましたか。  
温暖化がどうして起こるか説明してください。

**【ねらい】**  
要因、仕組みについて教科の用語を使って説明できるかを見る。

Bさん (ステージ5)	① 地球温暖化で泣いています。 ② 電気自動車を使って二酸化炭素が増えないようにする。森林を切らないようにする。 ③ 習いましたが、説明できません。
Dさん (ステージ3)	わかりません。
Fさん (ステージ2)	わかりませんです。

## 2. 個別の支援計画

### DLAの結果に基づいて作成

DLA<話す>	正答率	間違えたところ	備考
導入会話 (16の質問)	88%	・友だちとどんなことをして遊びますか ・日本の学校で好きなことは何ですか	「～こと」が分からず答えられなかった様子。
語彙力チェック (55問)	75%	まつげ、唇、(牛の)角、(ねこの)ひげ、枝、屋根、引き出し、黒板消し、地図、運転手、医者、消防士、翼、着る	概ね回答できていたが、身近な語彙(運転手、医者など)が定着していない。
基礎タスク (18問)	100%	なし	全問正解。とてもテンポ良く答えることができた。
対話タスク (11問)	27%	カード(4) B①友だちに依頼する カード(5) ①自己紹介をする カード(6) 友だちを誘う①会話を切り出す、 ②誘う、③時間、場所の取り決め、④会話をしめくくる カード(7) ①起こったこと/してしまったことを伝える、②謝る	「誘う」「謝る」ということが分からなかった様子だった。 「誘う、って何ですか?」という質問が出た。
認知タスク (9問実施)	17%	カード(11) ①地球が泣いている理由を述べる、②対策の意見を述べる、③温暖化の要因について説明する カード(12) ①地震の経験について述べる、 ③地震の仕組みについて説明する	カード(11) (12) 実施 ※カード(7) ができていなかったため、(10) は実施せず。

### 令和2年度「オンラインによる日本語支援」個別の支援計画 (10月・11月)

生徒氏名	( 年 組)					
日本語能力	2020 年 9 月 28 日 (月) DLA・話す実施。 診断の結果、JSL 評価参照枠のステージ 3 の段階で あると判断した。 ※ステージ 6 が最高			段階 JSL 評価参照枠	【聴く】 【話す】 3 【読む】 【書く】	
支援重点項目	・ 内容が豊富でまとまりのある話、説明、理由、意見が言える ・ 単文ばかりでなく、複文を使い、段落を構成できる ・ 話題や内容に相応しい語彙を選んで、正しく使うことができる (教科学習語彙を含む)					
支援計画と支援の内容						
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
内容						
日本語基礎	文字：カタカナの復習、漢字読み書き（小学校レベル～） 語彙：学校生活および日常的なトピックから生活語彙を補強する。 文法：日本語の文法知識や定型表現等を復習する。					
技能別日本語	＜話す＞謝る・誘う・断る・申し出る・依頼する・提案する・お礼を言うなど、場面を設定して目的に応じた話し方を練習する。 ＜書く＞日記や作文などで自分の意見をまとめる/説明する練習を行う。					
日本語と教科の統合学習	小学校レベルの学習言語として、理科・社会（身体部位、動物、植物、社会）の用語を使って説明したり、観察した結果を話したりする練習をする。					
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
時間数	週 3 時間	週 3 時間	週 3 時間	週 3 時間	週 3 時間	週 3 時間
備考欄						



### 3. 関係者との共有

- ・生徒1人1人の実態把握
- ・支援の方向性の確認

写真

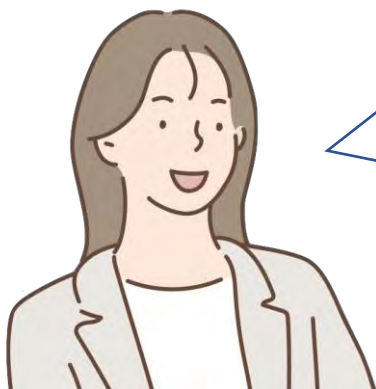
写真

DLA<話す>	正答率 ( ) は前回	間違えたところ	備考
導入会話 (16の質問)	100% (100%)	なし	テンポ良く答えていた。 友だちの名前もたくさん出た。 <u>学校生活を 楽しんでいることがよく分かった。</u> 学校は「楽しい!」と即答。前回もそうだった。 ⑩ どうして楽しいか: 友だちと遊べる、分からないことも分かるまで教えてくれる。 ⑪ 日本の学校で好きなこと: きれい、先生

写真左: 学校を訪問してのDLA結果報告会の様子

写真右: オンラインでのDLA報告会の様子

# 学校関係者の声



分析結果が子どもの実態を表している。  
ふだんコミュニケーションがとれているため、気がつかなかった点、  
子どもたちが困っているところが分かった。



日本語能力を的確に見とることができている。  
これまで感覚で捉えていたことが客観的に数値で出ている。  
個別の支援計画に結果が生かされている。



# DLAの課題と今後の展開

- ・実施および結果のアウトプットまで多くの時間を要する。

- ・DLAを正確に実施する。
- ・結果を正確に分析する。
- ・具体的な支援の形に置き換える。
- ・関係者と共有し、説明する。

## 【今後の展開】

- ・DLAの実施および結果のアウトプットまでができる人材育成。
- ・オンラインでの実施により、遠隔地への支援の可能性。
- ・多方面をつなぎながら、実証研究を重ねていく。

